

7月 13~16週(月4回授業)

30	日	期末考査補習(妹尾・茶屋町)
1	月	7月13週 期末考査(妹尾・東陽・新田・灘崎・吉備)
2	火	期末考査(妹尾・東陽・新田・灘崎・吉備・御南)
3	水	期末考査(東陽・福田・御南)
4	木	期末考査(福田・藤田)
5	金	期末考査(福田・藤田)
6	土	
7	日	休校
8	月	7月14週
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	夏期講習締め切り
13	土	
14	日	休校
15	月	祝日通常授業あり。 7月15週
16	火	夏期講習第1ターム
17	水	
18	木	
19	金	終業式
20	土	休校
21	日	休校
22	月	7月16週
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	休校
29	月	8月17週 夏期講習第2ターム
30	火	
31	水	
1	木	
2	金	
3	土	

夏期
面談
7月~
12日

量は質に変わる夏!

夏期講習



ヒーローズ おかやま

2019年6-7月号 ヒーローズ塾生のみなさん、保護様方、

こんにちは。6月も半ば、この稿を記しているころは、ちょうど梅雨入りしました。こここのところ天候が変ですね。暑かつたり寒かつたり・・・思春期、真っ盛りの中学3年生の生徒さんのようです。梅雨が明ければいよいよ‘夏’です。受験生にとっては大切な時期です。

今年の夏はステージ理論を紹介します。

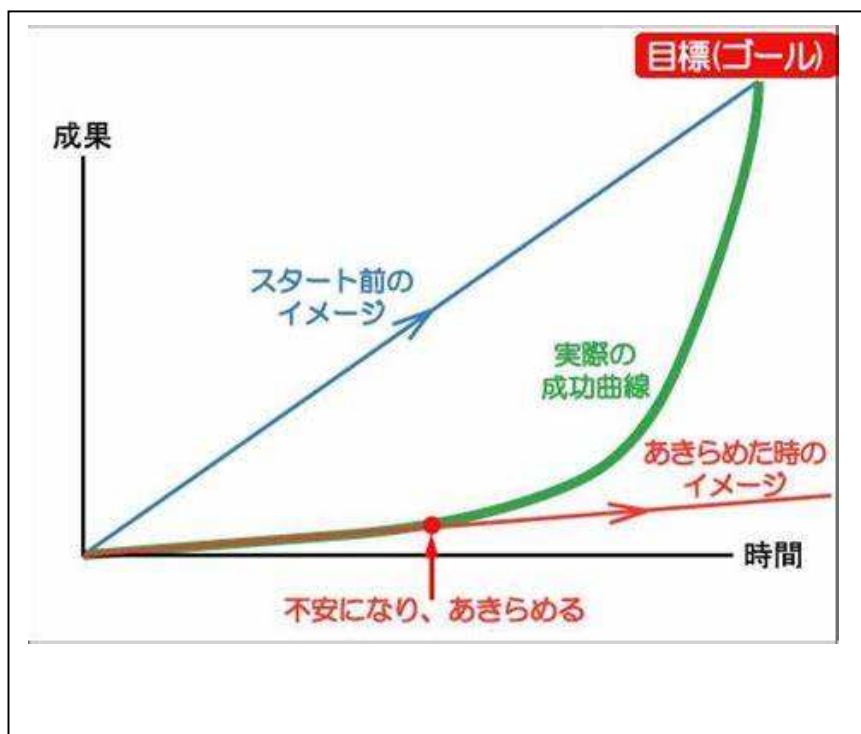
どの世界でもそうですが一流と言われるプロは少々、学習や練習をしないでこそ簡単には落ちません。(忘れません。)我々も含めて世の中の大人たちは中学生時代に勉強を頑張られたと思います。その頑張りの量で忘れない大人と忘れてしまう大人とに分かれます。

勉強もスポーツも仕事でも、次のステージに上がればある程度は落ちません。何事も最初は量で、世の中の原理原則です。

量は質に変化する。

成長曲線はみなさんもお存知だと思いますが成長は成長と停滞を繰り返します。停滞という平面(現状維持)が踊り場であり、ステージになります。『こいつ、勉強がすごいな。』という生徒さんはそのステージに上がり切っている生徒さんです。脳科学分野ではこの辺りのお話は相当に研究が進んでおり、だいたい1年で1,500時間くらい消費すると次のステージにあがる、と言われているそうです。

ただ、その話はわかっているのに、ほとんどの人は成長するイメージと



のギャップで不安になり、あきらめてしまいます。

では、頑張れる1年1500時間はどれくらいなのか？1日平日で3時間、土日5時間でざっと1200時間です。残りの300時間は春、夏、冬休みで加えるといった感じでしょうか。これが受験勉強の量です。

夏期講習受付開始。受験生は原則、お願いします。締め切りは7月12日(金)です。

中3生は7月15日(月)に通常授業をいったん止めます。7月16日(火)より夏期講習となります。講習では通常授業とコマ数が変わりますので7月の2週分(7月16日~、7月22日~)は8月ご請求分で返金します。(7月13日以降夏期講習申し込みは9月で返金となります。)以降は夏期講習のスケジュールでの通塾となりますのでご注意ください。ただし、どうしても、生徒さん本人にやる気がない・・・などで夏期講習を受講しても効果がないなどのご判断をされた場合は現行の通常授業時間での通塾日時でもかまいませんが、夏期講習期間中は講習優先とさせていただきますため通塾時間については変更も含めてご相談させてもらう場合があります。ご理解をください。なお、速脳速読は通常通りありますが、講習と重なる場合は日時を変更してください。

夏期講習がよくわからない？ 夏前面談行います。お忙しいところ、恐縮ですが、ご希望の生徒さんのみ7月1日~12日の期間で面談を実施しますので、希望される場合は別紙の面談用紙を授業時に講師の先生にお渡しください。メールでも受け付けております。(7/1以別紙参照)なお、中3生で6月7,8日両日に岡山県模試を受験していただいた生徒さんは結果が7月6日(土)ですので面談はそれ以降で設定していただくより内容のあるものとなると思います。また、生徒さんとの都合がつかない場合は2者面談でもかまいません。【うちの子供はどうすればいいのか？】そのまま通常授業のコマ数を維持してもいいですし、夏期講習の間だけ増コマとして、普段勉強していない教科を受講していただいてもいいです。いろいろな選択肢があると思います。いずれにしても、夏休みは1年のうちで一番まとまった時間で学校授業がストップする時期。普段、通常授業が少ない生徒さんは、苦手単元や勉強していない教科の受講を検討して頂き、学習していきましょう。

妹尾校は7月20日(土)、茶屋町校は6,20日(土)庭瀬校は6,13,20日(土)は休校です。

7月15日月曜は海の日ですが通常授業を行います。祝日でご予定のある生徒さんは振替できますので事前にお知らせください。

ほんものは続く、続けるからモノになる。

『自分を育てるの自分』です。光のスイッチをいれてみよう。生かされていること感謝です。

2013年以来、毎年夏に、保護者様にも生徒さんにも是非、読んでほしい本を厳選してお配りしています。今年は【自分を育てるのは自分】です。古い本ですが、東井義雄さんが中学生に「私を私に育てる責任者は私。」と「バカにはなるまい。」の2回の講演をまとめたもので今なお売れている名著。あの国民教育の師匠・森信三先生が「教育界の国宝」と称えた伝説の教師が東井先生です。内容は10代の生徒さんに何を語るのかというより10代の生徒さんの日常の経験や、恵まれたい状況、体験などから学ぶような構成で自身を見つめなおす糧になる本です。自分に光のスイッチを入れる、そして、続けてみる、続けると違うモノが見えてきます。10年後をみてみる！など、根底にあるのは生かされていることへの感謝。

卒業式で<仰げば尊し>を歌うことが少なくなった昨今ですが、我々のころはわが師の恩・・・と歌っていましたね。

